



KENS NEWS KENS GROUP INFORMATION

ケンズグループの最新情報をお届けします。

# ケンズ ニュース

\* 隔月発行

2015

103号

5・6  
月号



## 定期検査で健康維持増進

心疾患や脳血管疾患、胃がん、大腸がんなどは、初期症状のない病気で、定期的な内視鏡検査を受け、初期段階で病気の芽を摘み取ることが肝要です。

みなとみらいケンズクリニック  
院長代行  
渡邊 史郎

はじめまして、4月に着任いたしました渡邊史郎と申します。私は大学病院や市中病院、健診センター、企業内診療所など、様々な職場で地域の方々健康維持増進のお手伝いをしてまいりました。これまでの経験を生かし、皆様健康に不安を感じているときに気軽に相談のできる、かかりつけ医でありたいと思います。

日本人の死亡原因第一位である「がん」は初期の段階では症状がありません。胃がんや大腸がんも初期の段階ではほとんど自覚症状がありませんが、定期的な内視鏡検査を受けることで早期発見・早期治療が可能です。内視鏡検査は「つらい」、「きつい」というイメージがあるのか、検診で異常を指摘されているにもかかわらず、内視鏡による精密検査を受けることに抵抗がある方が少なくありません。これまで内視鏡診療に携わってきた経験を生かし、皆様不安なく検査を受けることができるように当院の特色でもある安心・安全で、苦痛の少ない内視鏡検査を提供いたします。内視鏡検査に抵抗がある方や不安がある方は、気軽に相談ください。

健康維持増進のために定期検査は欠かせません。糖尿病、脂質異常症、および高血圧などの生活習慣病は自覚症状に乏しく、気づかないうちに病気が進行します。これらの病気が知らず知らずのうちに血管を老化させて、狭心症や心筋梗塞などの心疾患や脳血管疾患などの原因となり、認知症の進行にも影響を及ぼすことがわかっています。定期検査を受けることは、病気を早期に発見し、初期の段階で病気の芽を摘み取ることができます。ご自身の体調のこと、検査のことや検査結果、治療可否についてなど、健康についてわからないことがございましたら是非ご相談ください。

## 苦痛の少ない内視鏡検査で早期発見・治療

健康はあなたにとっても、あなたの大切な人たちにとっても、

かけがえのないものです。健康に不安があるときや困ったときには、なんでも気軽に尋ねてください。皆様安心して生活ができるように貢献したいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 介護保険制度改正

推計によると、団塊の世代が75歳以上になる平成37年には5人に1人が75歳以上といわれています。それは今後も介護を必要とされる高齢者もますます増えるということになります。そして、介護をする介護職員は250万人必要になることになり、このままではますます30万人の不足となるそうです。国としては「介護が必要となっても住み慣れた地域

で暮らし続けられる体制づくり」を目指しています。そのため、4月には介護保険制度の改定が行われました。少しだけ内容を紹介させていただきます。ひとつは特別養護老人ホームに入る人が原則、要介護3以上となります。

もうひとつは、介護保険料ですが、これは市町村ごとに決められているのですが、低所得者の人の軽減率が拡大するそうです。

私どもの通所介護、訪問介護、要支援が市町村の事業となります。最後に8月からとなりますが、所得が一定以上の人は今までの一割負担から二割負担となります。

事業者側の改定は介護報酬が下がりました。これに伴い施設などでは現場の人手不足で施設の中の半分しか受け入れられなかったり、開設を取りやめた所もあるそうです。

そんな不安ばかりが報道されたりしていますが、私達は今回の制度内容をきちんと理解して、皆様がいままで住み慣れた場所での生活が営むことができるように安心、安全を心がけ、今後もサービスを提供してまいります。



テイヤながわ・癒しの樹  
管理者 楠 純子